

# お寺の代替わり

## 晋山(しんざん)式ってなに？

### 現住職は元気です

前回お盆号で、住職交代について掲載しましたが、その後、住職は具合が悪いのですかという声を多数いただきました。住職はいたって元気です。住職退任は、なにか病気があったということはありません。ご心配いただきありがとうございます。

### 前回の代替わりの時

現在の住職が就任する際に、前住職の善弘上人は体調が思わしくありませんでした。そのため早くから法事や葬儀などの法務は副住職が勤めていました。しかし、当時副住職は学校の教員と兼務しており、

代替わりにあたっての引継ぎは十分にできず、なにかと支障が生じました。

そのようなこともあり、出来るなら住職が元気なうちに代替わりをし、新任職と一緒に法務をし、様々な教えを継承することがより良い方法なのです。

### お寺は代々世襲？

次期住職は、現住職の長男です。それに関して、よく「お寺は世襲だから、息子さんが後を継ぐのですか？」と聞かれます。ちょうど代替わりの時期なので、すこしだけ触れますと、実はお寺は世襲ではありません。お寺を継ぐ人は、仏様への信仰が篤く、檀信徒

の方々への奉仕の心を持っていなければなりません。そのため、跡継ぎにふさわしくなければ、たとえ息子といえども継ぐことはできません。

### 晋山式…代替わりの儀式

住職の代替わりにあたり、行われる儀式は

『晋山式(しんざんしき)』といえます。これは、新しい住職が山(寺)に晋む(すすむ…入る)儀式です。この儀式は昔から行われている儀式で、この中で住職から新任職に、過去帳やお袈裟など代々受け継がれているすべてが渡されます。

法蔵寺では、来年五月に新任職に代替わりしますが、晋山式は、



晋山式イメージ

準備の状況にもよりますが、ちよつと落ち着いた来年の秋、十夜のころを考えています。詳細が決まりましたら、またお知らせします。合掌

### 副住職

### 『保護司』に就任

令和元年十月十五日付で、副住職が『保護司』に任命されました。現住職、前住職も務めていたお役目です。経験ある諸先輩方にご教授いただきながら、しっかりと勤められればと思います。

### 保護司とは？

保護観察官の職務を補佐する公務員で、法務大臣が委嘱します。

犯罪者の教化改善と更生を助け、犯罪予防のために世論の啓発に努めるなどして、地域社会の浄化をはかります。

(抜粋)